

私学高等教育研究所 第80回公開研究会
日本の大学設置認可・定員管理・質保証は転換期を乗り切れるか
～国際比較から考える～

日 時：2024年2月8日（木）14:30～17:00
会 場：オンライン開催
主 催：日本私立大学協会附置 私学高等教育研究所

日本の高等教育の質保証の構造は、「入口規制」の役割を大学設置基準と設置審が担い、設置後の質保証については、認証評価制度（第三者評価）が担っている。しかし、グローバル化と第四次産業革命の時代において、現行制度の枠組みの部分的な見直しだけで、大学が現代社会のニーズに適切に対応していくことができるか、については重大な疑念を抱かざるを得ない。

本研究では、大学設置の「入口規制」として大学設置基準が、更なる規制緩和の流れの中で従来型の質保証体制にどのような変容をもたらすのか、また、大学設置基準と認証評価がどのように連動して質保証システムとして機能してきたか、などについても検証が必要である。

今回の研究会では、比較可能な諸外国の大学設置基準と第三者評価の関係を調査した国際比較研究について報告し、日本固有の公的質保証システムの課題や将来への課題を探っていく。

最終的には、日本の現状に見合った大学設置基準と質保証体制の在り方を模索するとともに、将来の設置審査に関する提言を行うことをめざす国際比較研究の中間報告である。

本研究は科学研究費基盤 A「社会経済の転換期における大学設置認可制度の歴史的検証と国際比較研究」（2023-26年度。研究代表者：濱名篤）、具体的な対象国としては、イギリス、ベトナム、マレーシア、そして日本同様に厳しい人口減少に苦しむ韓国の4か国における大学設置認可と質保証をめぐる現状と課題について2023年に実施した各国政府、機関への訪問調査の結果を報告し、文科省や政府が検討している現在の政策検討についてのインプリケーションを提起したい。

報 告

「UK、特にイングランドの動向」川嶋 太津夫 氏（大阪大学 スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任教授/私学高等教育研究所 研究員）

「ベトナムの動向」近田 政博 氏（神戸大学 大学教育推進機構 教授）

「マレーシアの動向」我妻 鉄也 氏（千葉大学 アカデミック・リンク・センター 特任助教
/私学高等教育研究所 研究協力者）

「韓国の動向」塚原 修一 氏（関西国際大学 客員教授/私学高等教育研究所 客員研究員）

「総括と日本の課題」濱名 篤 氏（関西国際大学 社会学部 教授/私学高等教育研究所 研究員）

お申込み

日本私立大学協会webサイト (<https://www.shidaikyo.or.jp/>) “トピックス”の公開研究会の開催案内から「申込フォーム」に記入の上、2024年2月1日（木）までにお申し込みください。終了後に期間限定で行う録画配信をご希望の方もお申し込みください。

○参加料は無料です。

○お申し込み時に登録されたメールアドレスに、申し込み完了の自動返信メールが送信されます。15分経過してもメールが届かない場合には、お手数ですが研究所までご連絡ください。

○本公開研究会は、web開催です。視聴用のURLと配布資料は、お申し込みいただいたメールアドレスに、開催日前日迄にご案内いたします。

○ご登録いただいた情報は、本研究所の事業運営に必要な範囲に限り利用いたします。

○講演内容等は変更になる場合がございます。

○録画・録音・撮影は、禁止とさせていただきます。

【問合せ先】日本私立大学協会附置 私学高等教育研究所 担当：坂下景子、高山亜弓

TEL・・・03-5211-5090 / MAIL・・・info@riihe.jp